

# 平成28年(2016年)5月の結果 (二人以上の世帯)

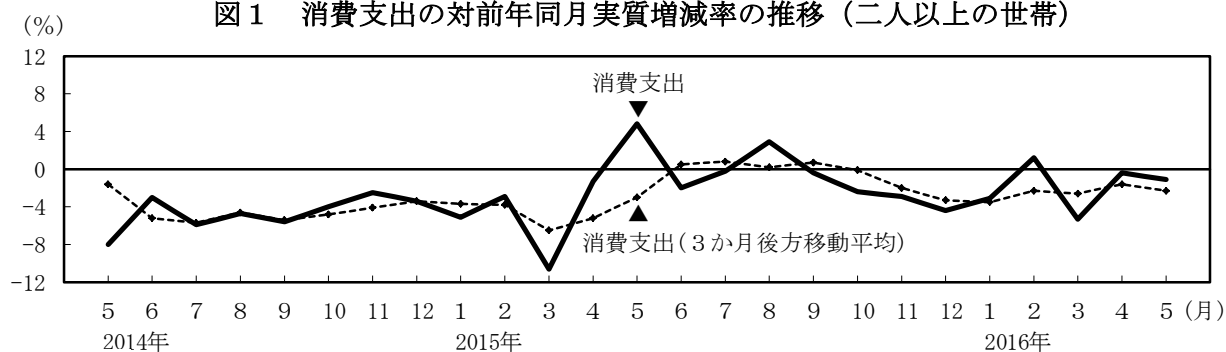
## 消費支出

・消費支出は,	1世帯当たり 281,827 円	
前年同月比	実質 1.1%の減少	名目 1.6%の減少
前月比(季節調整値)	実質 1.5%の減少	
・消費支出(除く住居等※)は,	1世帯当たり 246,364 円	
前年同月比	実質 0.9%の減少	名目 1.4%の減少
前月比(季節調整値)	実質 2.0%の減少	

※:「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)

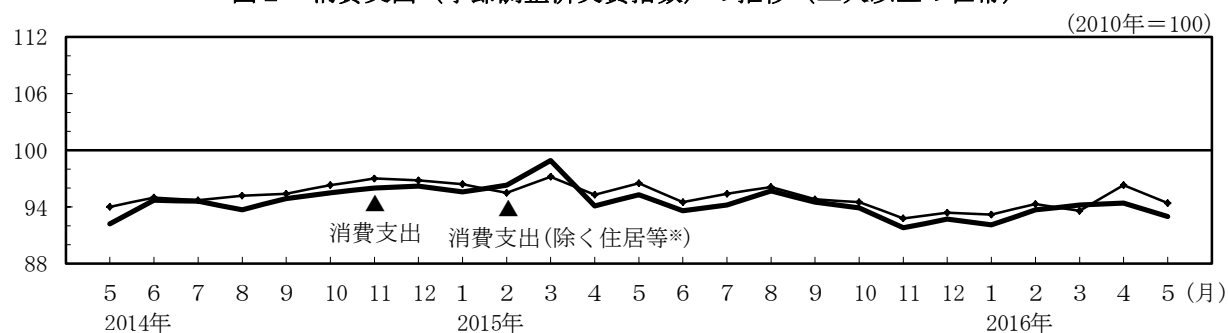


	2015年								2016年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費支出	4.8	-2.0	-0.2	2.9	-0.4	-2.4	-2.9	-4.4	-3.1	1.2	-5.3	-0.4	-1.1
消費支出(除く住居等※)	3.7	-1.4	1.1	1.9	-0.9	-2.4	-2.9	-4.3	-2.8	1.9	-4.3	0.4	-0.9
(参考)3か月後方移動平均													
消費支出	-3.0	0.5	0.8	0.2	0.7	-0.1	-2.0	-3.3	-3.5	-2.3	-2.6	-1.6	-2.3
消費支出(除く住居等※)	-2.0	1.3	1.1	0.5	0.7	-0.5	-2.1	-3.3	-3.4	-2.0	-1.9	-0.8	-1.6

注 3か月後方移動平均は、すう勢的な動向を見るため、当月を含む直近3か月間の金額を平均した値である。

ここでは対前年同月実質増減率を表章している。

図2 消費支出(季節調整済実質指数)の推移(二人以上の世帯)



	2015年								2016年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費支出	95.3	93.6	94.2	95.7	94.5	93.9	91.8	92.7	92.1	93.7	94.2	94.4	93.0
対前月変化率(%)	1.3	-1.8	0.6	1.6	-1.3	-0.6	-2.2	1.0	-0.6	1.7	0.5	0.2	-1.5
消費支出(除く住居等※)	96.5	94.5	95.4	96.1	94.8	94.5	92.8	93.4	93.2	94.3	93.6	96.3	94.4
対前月変化率(%)	1.3	-2.1	1.0	0.7	-1.4	-0.3	-1.8	0.6	-0.2	1.2	-0.7	2.9	-2.0

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

## 2 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2016年5月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	281,827	-1.6	-1.1	-		3か月連続の実質減少
食 料	75,062	2.1	1.2	0.32	<増 加> 調理食品,乳卵類など	2か月連続の実質増加
住 居	17,257	-4.4	-4.9	-0.31	<減 少> 設備修繕・維持,家賃地代	2か月連続の実質減少
光 熱 ・ 水 道	20,525	-8.0	1.1	0.09	<増 加> 上下水道料,他の光熱	8か月ぶりの実質増加
家具・家事用品	10,467	0.9	0.5	0.02	<増 加> 家事サービス,家事用消耗品など	4か月ぶりの実質増加
被 服 及 び 履 物	13,167	5.3	3.0	0.13	<増 加> 洋服など	10か月ぶりの実質増加
保 健 医 療	11,833	0.3	-0.2	-0.01	<減 少> 保健医療用品・器具,保健医療サービスなど	6か月ぶりの実質減少
交 通 ・ 通 信	39,492	1.9	4.7	0.65	<増 加> 通信,自動車等関係費	3か月ぶりの実質増加
教 育	9,791	-9.2	-10.5	-0.39	<減 少> 授業料等,補習教育など	4か月ぶりの実質減少
教 養 娛 楽	29,568	1.2	-0.8	-0.08	<減 少> 教養娯楽サービス,書籍・他の印刷物	3か月連続の実質減少
その他の消費支出	54,665	-7.6	(-7.1)	(-1.48)	<減 少> 交際費,仕送り金など	12か月連続の実質減少
消 費 支 出 ( 除 く 住 居 等 )	246,364	-1.4	-0.9	-		2か月ぶりの実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

#### 中 分 類

#### 品 目

#### < 減少項目 >

#### 実質寄与度

交際費	[-0.91]	.....	贈与金
授業料等	[-0.25]	.....	国公立高校,私立中学校
諸雑費	[-0.23]	.....	祭具・墓石,葬儀関係費
交通	[-0.22]	.....	鉄道通勤定期代,鉄道運賃
設備修繕・維持	[-0.16]	.....	外壁・塀等工事費,修繕材料
教養娯楽サービス	[-0.13]	.....	国内パック旅行費,宿泊料

#### < 増加項目 >

通信	[0.76]	.....	移動電話通信料,固定電話通信料
調理食品	[0.22]	.....	弁当,冷凍調理食品
上下水道料	[0.12]		
洋服	[0.12]	.....	男子用ズボン,男子用上着

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

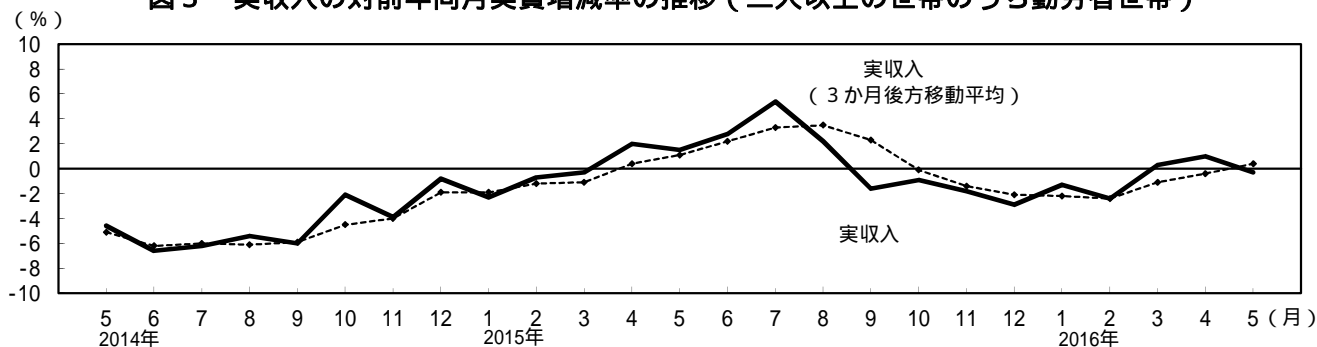
## 実 収 入

勤労者世帯の実収入は、1世帯当たり 426,805 円  
 前年同月比 実質 0.3%の減少 名目 0.8%の減少

### 3 勤労者世帯の収支

#### (1) 勤労者世帯の実収入の推移

図3 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2015年								2016年				
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
実 収 入	1.5	2.8	5.4	2.2	-1.6	-0.9	-1.8	-2.9	-1.3	-2.4	0.3	1.0	-0.3
(参考) 3か月 後方移動平均	2.5	2.8	3.8	3.9	2.6	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1
名 目	2.5	2.8	3.8	3.9	2.6	0.2	-1.1	-1.8	-2.0	-2.2	-1.0	-0.4	0.1
実 質	1.1	2.2	3.3	3.5	2.3	-0.1	-1.4	-2.1	-2.2	-2.4	-1.1	-0.4	0.4

#### (2) 勤労者世帯の収支の内訳

表2 収支の内訳(2016年5月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	426,805	-0.8	-0.3	-	3か月ぶりの実質減少
世 帯 主 収 入	348,195	-0.3	0.2	0.17	2か月連続の実質増加
定 期 収 入	343,851	0.1	0.6	0.48	2か月連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	58,838	1.3	1.8	0.24	5か月連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	8,107	7.2	7.7	0.14	2か月連続の実質増加
非 消 費 支 出	113,425	10.7	-	-	3か月ぶりの増加
可 処 分 所 得	313,379	-4.4	-3.9	-	3か月ぶりの実質減少
消 費 支 出	306,721	-3.3	-2.8	-	2か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	(前年同月) (ポイント差)				季節調整値でみると75.2%で、前月に比べ1.0ポイントの上昇となった。
	97.9	96.8	1.1		

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入、社会保障給付、財産収入などが含まれる。